

# JOYFUL HONDA

## 原点回帰と新しい企業文化の創造

「令和6年能登半島地震」により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復旧をお祈り申し上げます。

## 2024年6月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社ジョイフル本田

(証券コード 3191)

2024年2月5日

---

# 1. 24/6期上半期 決算ハイライト

2. 中期経営計画の進捗

3. 24/6期施策と業績予想

4. 付属資料

# 24/6期上半期 決算のポイント

## 1 売上高は吉岡店出店効果により前期比 101.8%、経常利益は前期比 91%

- ・ 気候の変化や競合リフォーム店の増加等の影響により、既存店売上高 前期比 97.9%
- ・ 営業利益以下すべての利益が期初予想を上回る水準で着地

## 2 資材・プロ用品の強化が奏功、本田屋出店と併せて当社の成長施策に

- ・ 荒川沖店、守谷店、市原店、小山駅前店に続き、君津店の資材・プロ用品売場の増強を開始
- ・ 2024年2月2日 本田屋宇都宮元今泉店出店

## 3 業態の多様化や社内活性化に向けた当社初の取り組み

- ・ 住宅リペア会社を子会社化（既存事業に新たな事業領域を付加）
- ・ 千葉県柏市にポップアップストアを出店（ダイバーシティ推進社外プロジェクト）

### <当資料の前提>

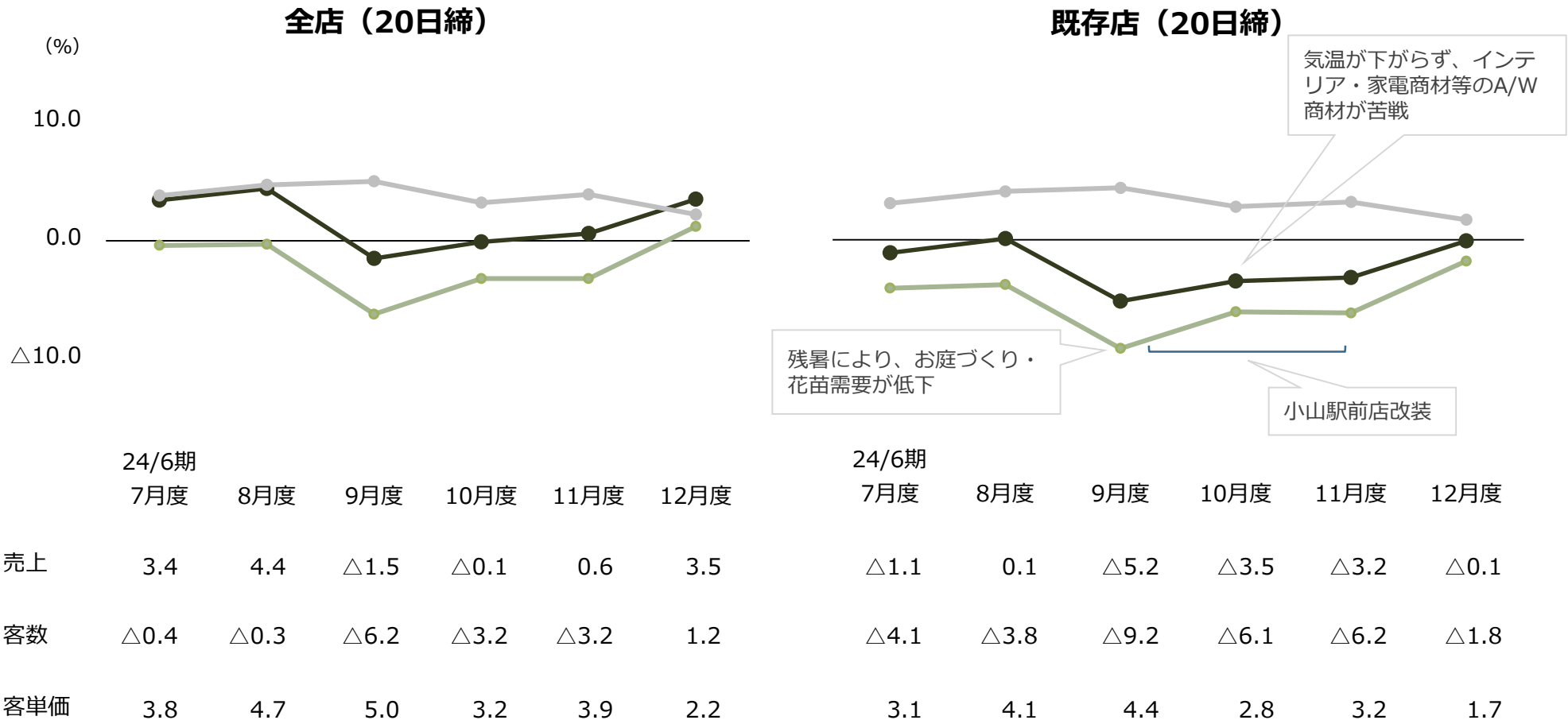
- ・ 24/6期の決算業績対象範囲を基本とし、実質比較のため、それ以前も同じ業績対象範囲で算出した数値で記載
- ・ 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、実質比較のため、それ以前も同じ基準で算出した数値で記載
- ・ 上記により、過年度の数値は決算短信に記載の数値とは一部異なる

	23/6期 上半期	24/6期 上半期	上半期予想	前期比		予想進捗率 %	コメント (対前期比)
				金額	%		
売上高	62,236 (100.0)	63,332 (100.0)	67,000 (100.0)	+1,095	101.8	94.5	・ 既存店前期比 97.9%
売上総利益	20,221 (32.5)	20,247 (32.0)	22,000 (32.8)	+25	100.1	92.0	
営業収入	2,848 (4.6)	3,157 (5.0)	3,050 (4.6)	+308	110.8	103.5	・ ジョイホンパーク吉岡のテナント収益が上乘せされたことが主要因
営業総利益	23,070 (37.1)	23,404 (37.0)	25,050 (37.4)	+333	101.4	93.4	
販管費	16,877 (27.1)	17,876 (28.2)	19,700 (29.4)	+998	105.9	90.7	・ 水道光熱費 前期比 86.5% (吉岡店を含む)
営業利益	6,192 (10.0)	5,527 (8.7)	5,350 (8.0)	△665	89.3	103.3	
経常利益	6,692 (10.8)	6,089 (9.6)	5,810 (8.7)	△603	91.0	104.8	
税引前純利益	6,678 (10.7)	6,042 (9.5)	5,770 (8.6)	△635	90.5	104.7	
純利益	4,589 (7.4)	4,180 (6.6)	4,020 (6.0)	△409	91.1	104.0	

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

# 月次売上高の対前年同月比

- ・ 残暑の長期化や暖冬の影響により、季節商材が不調
- ・ 原材料高騰への対応、専門性の高い商品の積極的導入により客単価は前年比増



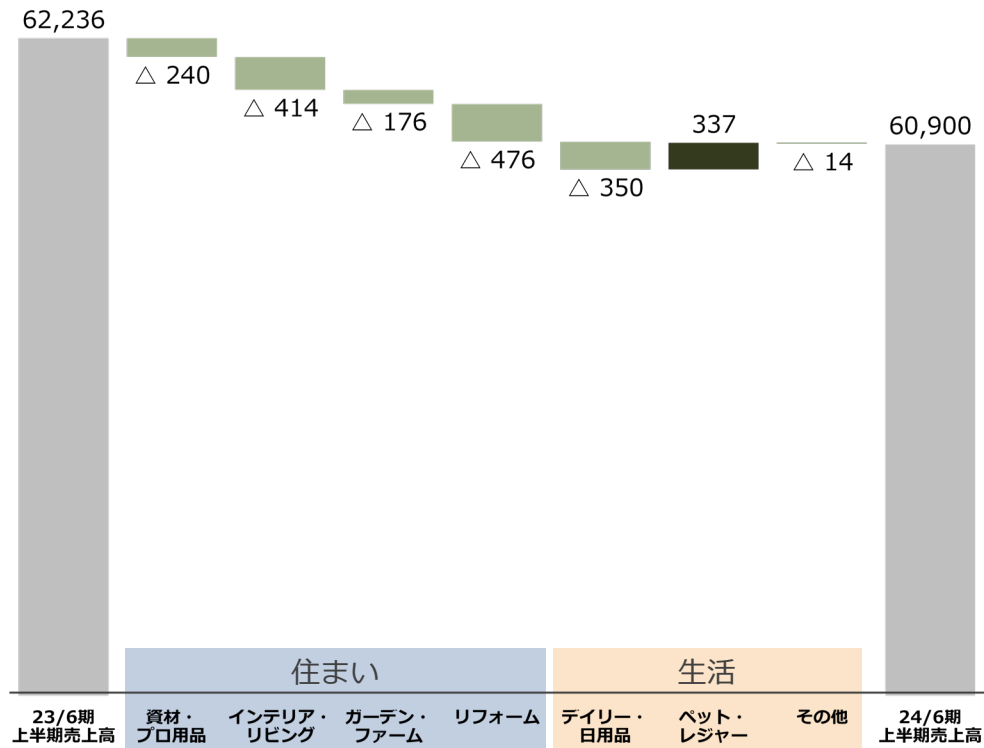
# 商品グループ別売上高および売上総利益

- ・ 資材・プロ用品は資材で価格高騰の影響があったもののプロ用品の売上は好調に推移
- ・ 粗利は気候の変化を起因としたガーデン・ファームグループの値下げにより減少

## 売上高の増減（既存店）

(百万円、%)

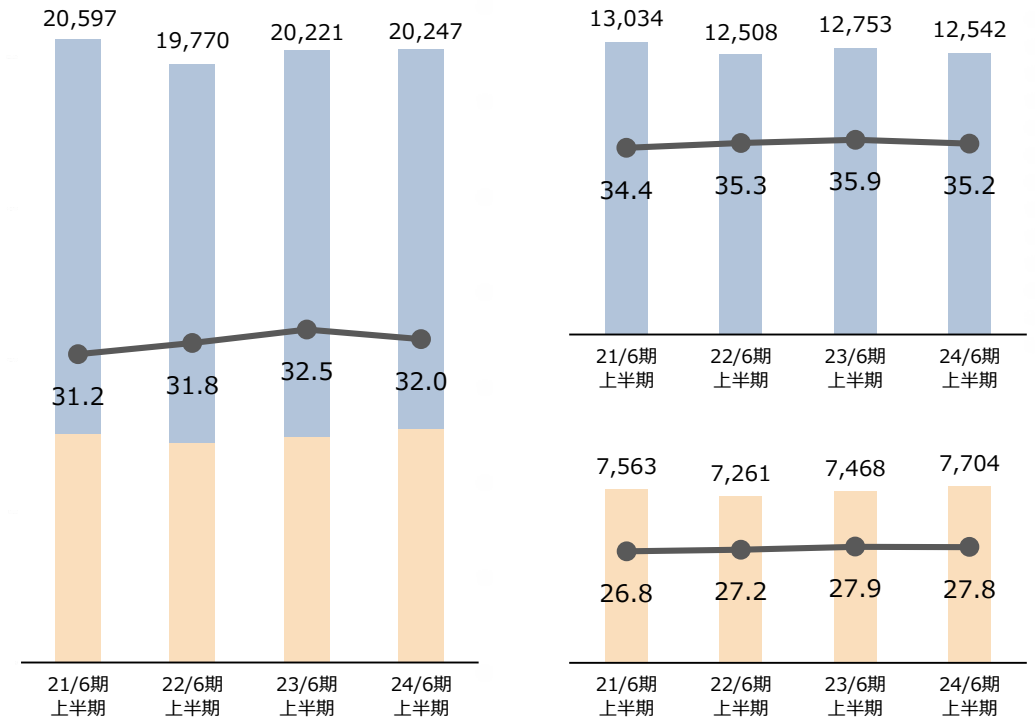
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



## 売上総利益の推移

(百万円、%)

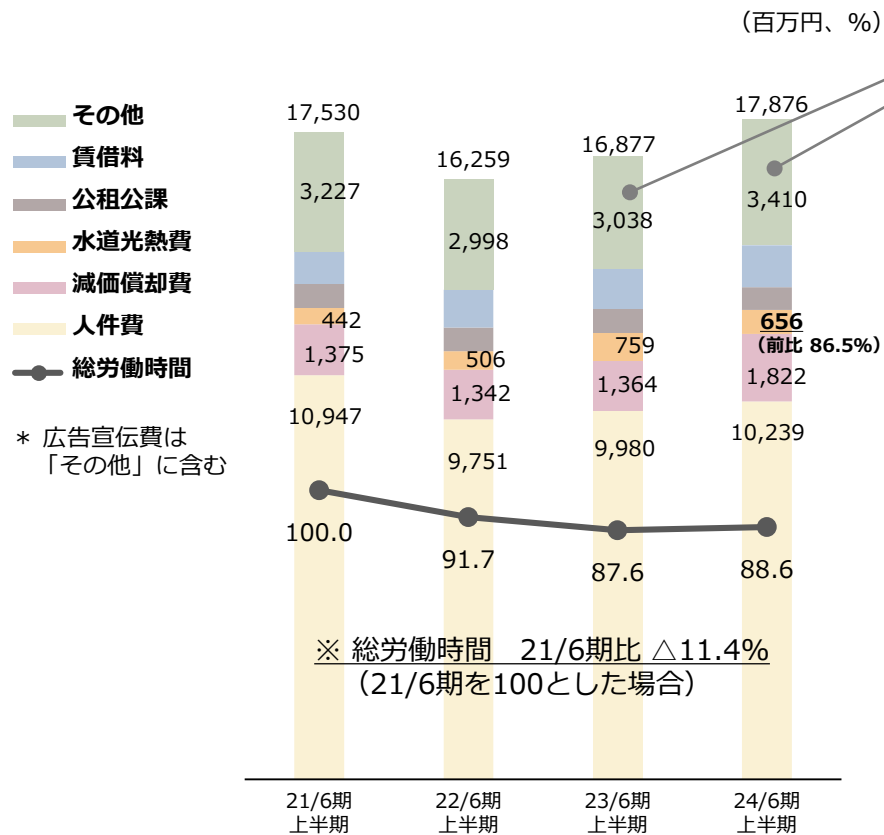
■ 住まい ■ 生活 ● 売上総利益率



# 販管費と総労働時間の推移

- ・ 販管費増加（前期比105.9%、+998百万円）だが期初計画内でコントロール  
⇒ 人件費・修繕費の増加とジョイホンパーク吉岡の減価償却費が主要因

販管費と総労働時間の推移



主な販管費（その他）前期比

(百万円)

	23/6期 上半期	24/6期 上半期	前期比
旅費交通費	43	69	+26
クレジット手数料	630	697	+66
保安全管理費	790	867	+77
修繕費	143	295	+152

【増加要因】

- ・ キャッシュレス決済の増加でクレジット手数料が増加
- ・ 千代田店・古河店の空調設備などの既存店の修繕費が増加

		23/6期 上半期末	23/6期 期末	24/6期 上半期末	前年 同期末比	前期末比	コメント(対前期末比)
資産の部	流動資産	64,047	60,614	59,062	△4,984	△1,551	
	現金及び預金	39,318	35,022	32,189	△7,128	△2,832	
	売掛金 *1	4,060	4,065	4,405	344	339	・約50億円の自己株式を取得
	商品 *2	18,868	18,729	20,462	1,594	1,732	
	固定資産	94,120	100,313	99,249	5,128	△1,063	
資産合計	158,168	160,927	158,312	143	△2,615		
負債・純資産の部	流動負債	20,609	19,486	20,461	△147	975	
	買掛金	8,566	6,511	8,674	108	2,163	
	短期借入金	0	0	0	—	—	
	1年内返済予定の長期借入金	3,592	3,091	2,932	△659	△158	
	固定負債	20,831	22,111	20,586	△244	△1,525	・純資産が約20億円減少 ・買掛金の増加は商品の仕入れと連動 (年末商戦のため仕入れが増加)
	長期借入金	10,587	9,120	7,654	△2,932	△1,466	
	負債合計	41,440	41,598	41,048	△392	△550	
	株主資本合計	115,827	118,273	116,040	213	△2,232	
純資産合計	116,727	119,329	117,264	536	△2,065		
負債・純資産合計	158,168	160,927	158,312	143	△2,615		

\*1: 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、売掛金には契約資産を含む

\*2: 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む



# 設備投資および減価償却費、キャッシュ・フロー

## 1. 設備投資および減価償却費

	21/6期 上半期	22/6期 上半期	23/6期 上半期	24/6期 上半期	コメント	24/6期末予想
設備投資	851	1,365	3,138	807	・ PPAにすることにより設備投資額が縮小 ・ 下半期に太陽光設備工事やテナント工事予定	4,600
減価償却費	1,375	1,342	1,364	1,822		3,700

## 2. キャッシュ・フロー

	21/6期 上半期	22/6期 上半期	23/6期 上半期	24/6期 上半期	主な内訳
営業活動によるCF	5,249	2,842	6,097	6,681	・ 税引前当期純利益 +6,042
投資活動によるCF	2,697	△1,629	△3,216	△1,375	・ 有形・無形固定資産の取得支出 △1,146
財務活動によるCF	△3,512	△8,595	△6,083	△8,138	・ 長期借入金の返済支出 △1,624 ・ 配当金の支払 △1,498 ・ 自己株式の取得支出 △4,999
現金及び現金同等物の増減額	4,435	△7,381	△3,202	△2,832	・ 上記CFの合計
現金及び現金同等物の期末残高	42,310	38,114	39,280	32,151	

---

1. 24/6期上半期 決算ハイライト

**2. 中期経営計画の進捗**

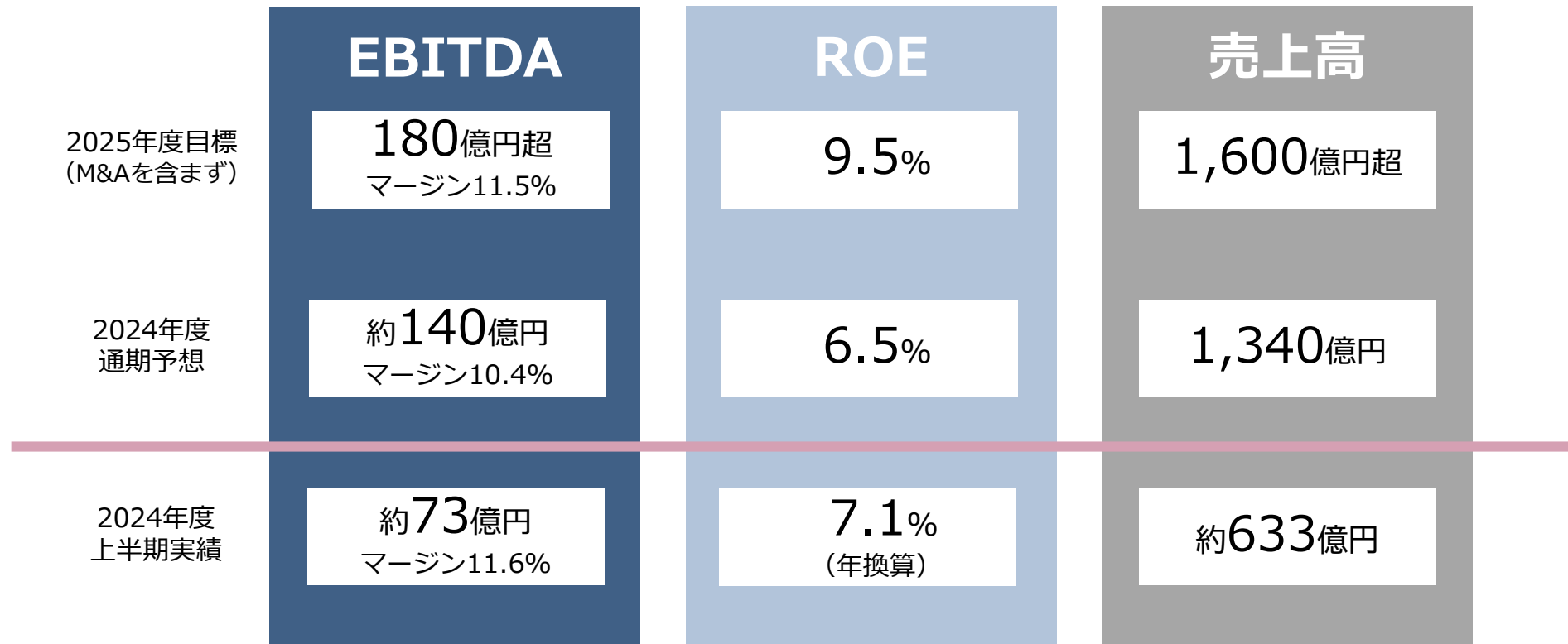
3. 24/6期施策と業績予想

4. 付属資料

# 中計の進捗①

- 資本の効率化に繋がる大型店・専門店の新規出店と自己株式の取得を実行

## 定量目標の3本柱



# 中計の進捗②

キャッシュ・アロケーション（23/6期～25/6期 3か年累計） 計画 24/6期上半期 累計

CASH-IN	EBITDA	500億円	73億円	213億円
	BPR投資（既存事業、SDGs）	50億円	11億円	21億円
CASH-OUT	成長投資（出店、IT/DX、M&A）	280～500億円	52億円	154億円
	自己株式取得			
	配当（下限）	80億円	14億円	42億円
	法人税等	120億円	27億円	45億円

---

1. 24/6期上半期 決算ハイライト

2. 中期経営計画の進捗

**3. 24/6期施策と業績予想**

4. 付属資料

# 2024年6月期 主要テーマ

---

1

人への投資

2

同質化競争からの脱却

3

持続可能で豊かな社会実現に貢献

→ GX Store構築に向けて継続中

# 1.人への投資

## ・スタッフの就業環境整備を推進

① 2023年2月より導入したGLTD制度（団体長期障害所得補償保険）の任意補償額買増オプションの開始（2023年11月より）

② 「奨学金返還支援制度」の導入（2023年12月より）

【目的】奨学金返還を行う社員の経済的・心理的負担を軽減することにより、安心して業務に専念できること、自身のキャリアプラン・ライフプランを柔軟に描くことができる環境を整備すること、そして、優秀な人財の確保や社員定着率の向上により当社の企業価値向上に資すること

③ 労働分配率の再設定

49% → 50%（売上総利益の50%を総額人件費に充当）  
23/6期 24/6期

健康面においても不安がなく、気力溢れる有能な人財の社外への流出を防ぐこと、継続して当社での勤務を選択していただき、能力を発揮していただく下地を作ることを目指しております

皆さまへのお知らせ

### 皆さまが安心して長く働ける環境整備のために

— 具体的取り組みのご案内 —

## 時給制社員の時給一律ベースアップ

適用日：2023年9月16日  
対象：時給制社員（技能職群、パート職群、アルバイト）  
ベースアップ金額：現時給より一律50円/時間 引き上げ  
※オープン特別時給を適用している店舗は対象外

## 再雇用年齢上限を70歳から75歳に延長

適用日：2023年9月16日  
再雇用年齢の上限を現在の70歳から75歳に引き上げました。また、契約の満了日を誕生日から、75歳の誕生日到達以降最初を迎える3月15日としました。

## 60歳以降の社員皆さんの昇給制度を導入

適用日：2023年6月21日  
お客様の為に行動指針に沿って行動できる方が評価・昇給できる仕組みを導入しました。またこれまでは、60歳以降の時給は固定でしたが、新制度は評価によって昇給ができるようになりました。

### Others

#### GLTD 制度の導入

※団体長期障害所得補償保険  
病気やケガで長期働けなくなった社員の皆さまについて、有給休暇や健康保険だけでは補えない所得の喪失を補償する仕組みで、会社加入分に加え、皆さまの任意による追加部分のご案内を開始しています。  
適用日：2023年2月1日（会社補償分）  
※補償額買増オプション（任意）は2023年11月1日より

#### 育児短時間制度

育児短時間の対象となるお子さんを小学校3年生終了まで延長しています。適用日：2022年6月1日

#### 幅広い活躍を目指していただくための仕組みの導入

パート職群から技能職群・正社員、技能職群から正社員への転換基準を示し、キャリアアップを目指す方の目標を明確にします。適用日：2023年9月16日

今後も継続していきます

- インフルエンザ予防接種の補助金支給
- 資格取得者への手当支給
- 時給制社員の休職期間変更

本件に関するお問い合わせ 本社人事・総務部 TEL.029-822-2215

**JOYFUL HONDA**

2023.10

社内掲示用ポスター

## 2. 同質化競争からの脱却 / ① 出店戦略

### 本田屋（専門店）の積極的な出店



2024年2月2日オープン 本田屋宇都宮元今泉店

関東を中心に、事業承継を含めてスピード感のある出店を企画。本田屋の店舗フォーマットは200坪・300坪・500坪の3パターンを確立。

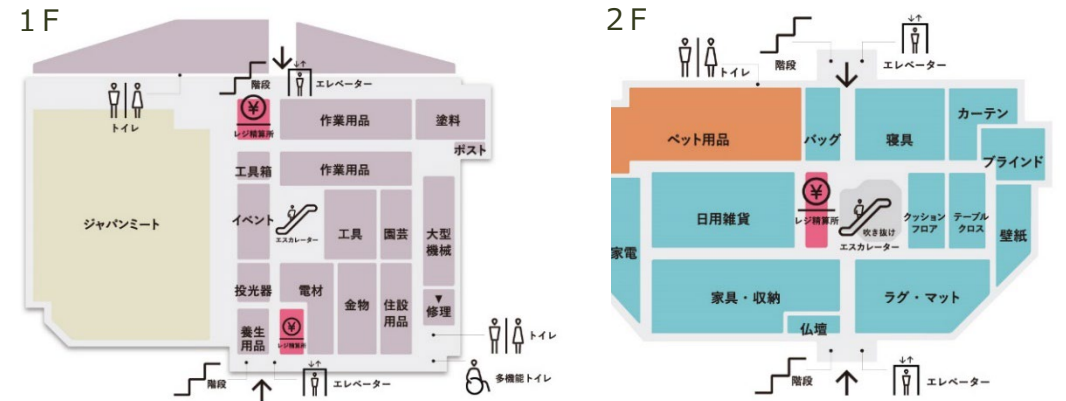
また、当社の専門性の高いカテゴリーを活かした新しい単独店の出店も視野に入れる。

### 大型店の出店を積極的に計画



2023年4月26日オープン ジョイホンパーク吉岡

### 小山駅前店のリニューアル



過去最大級の売場面積の本田屋と、当社ホームセンターのインテリア・リビングの品揃えを併せた新フォーマットでのリニューアルオープン。

1F 本田屋は、既存の本田屋のオープン時よりも好調な滑り出し。



## 2. 同質化競争からの脱却 / ②商品（サービス）戦略

- ・ 各商品グループの専門性を高めることでリアル店舗の醍醐味・楽しさを創出
- ・ 新カテゴリーとサービスの積極的投入による顧客接点の拡大と提案力の強化

### 各商品グループで専門性の高い商品を導入

例) 本田屋化推進店舗の改装後の実績（前期比）

	資材・プロ用品	うち主な「プロ用品」
A店（3か月間）	102.4%	120.3%
B店（2か月間）	102.5%	114.7%

例) 品揃えの深堀



トラック荷締め機等の  
品揃え強化



林業・造園業商材  
（新カテゴリー）



長巻トイレットロール 18ロール入り  
1パックで25ロール分（自社商品比）

### 和工房を子会社化

「和工房」は、戸建て・新築マンション・リフォーム等の施工会社からご依頼いただく「施工時にできた床・建具・造作部材などの傷」を補修することを生業としております。

リフォーム事業とリペア事業を組み合わせることで、お客様の住まいに関する困りごとを幅広く解消できるとともに、環境に優しい事業として当社の他の事業でも活用してまいります。



住まいの傷や汚れを可能な限り綺麗に復元いたします

# お客様の喜びが私たち（企業）の喜び

## ・ 地域や社内との対話（コミュニケーション）を意識した取り組み

自治体・地元企業様等と地域イベントを共催



Bリーグ 茨城ロボッツとスポンサー契約



スポーツチームを通じて地域社会に貢献

店舗女性スタッフの声で取り組んだ出店



丸井商業施設へ期間限定でポップアップストアを出店し、ホームセンターの女性視点の品揃えの増強に奏功

吉岡店の成功事例を積極的に水平展開



現代の住まいにも馴染む  
仏壇・仏具の積極的導入



既存店の資材・プロ部門を  
本田屋化

# P/L 通期業績予想

	23/6期		24/6期予想		23/6期比	
	上半期	通期	上半期	通期	金額	%
売上高	62,236 (100.0)	123,362 (100.0)	67,000 (100.0)	134,000 (100.0)	+10,637	108.6
売上総利益	20,221 (32.5)	40,014 (32.4)	22,000 (32.8)	43,800 (32.7)	+3,785	109.5
営業収入	2,848 (4.6)	5,899 (4.8)	3,050 (4.6)	6,200 (4.6)	+300	105.1
営業総利益	23,070 (37.1)	45,914 (37.2)	25,050 (37.4)	50,000 (37.3)	+4,085	108.9
販管費	16,877 (27.1)	34,818 (28.2)	19,700 (29.4)	39,700 (29.6)	+4,881	114.0
営業利益	6,192 (10.0)	11,095 (9.0)	5,350 (8.0)	10,300 (7.7)	△795	92.8
経常利益	6,692 (10.8)	12,240 (9.9)	5,810 (8.7)	11,260 (8.4)	△980	92.0
純利益	4,589 (7.4)	8,528 (6.9)	4,020 (6.0)	7,800 (5.8)	△728	91.5

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

# 株主還元 自己株式の取得

## ・ 約50億円の自己株式を取得

### 【自己株式取得の方針】

- ・ 資本効率を高め、1株当たり利益の増大を図る目的
- ・ 自己株式の取得・消却を機動的かつ継続的に実行していく

2024年6月期上半期実績	株式数	金額	補足
取得	3,021,100	約50億円	一括取得型自己株式取得（ASR）による取得結果 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 4.86%
発行済株式数	68,584,671		
自己株式数	6,442,400		取得後の発行済株式総数に対する割合 9.39%

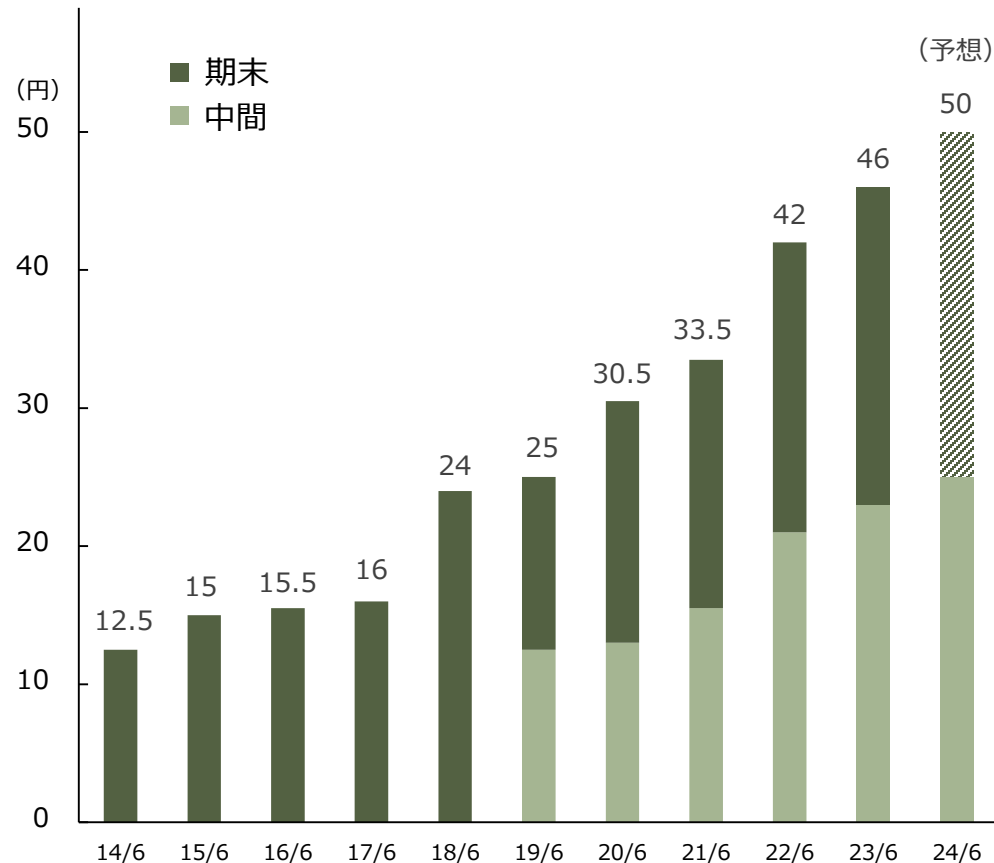
※ 2023年12月20日現在の自己株式数を基準に算出

上記自己株式には「株式給付信託（BBTおよびJ-E SOP）」により株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式337,420株を含まない

# 株主還元 配当予想

- 2014年の上場以降、今期で10年連続の増配を予定

配当実績・予想



\* 株式分割調整後の株式数ベースで記載

## 【配当方針】

2023年6月期中間配当より  
DOE（株主資本配当率）

2.0% → 2.5%

株主資本に応じた株主への安定的な  
利益還元の継続実行を基本方針として  
累進配当を継続

---

1. 24/6期上半期 決算ハイライト

2. 中期経営計画の進捗

3. 24/6期施策と業績予想

**4. 付属資料**

	24/6期 上半期	1Q	2Q		前期比	
			金額		金額	%
売上高	63,332 (100.0)	31,634 (100.0)	31,697 (100.0)	+427		101.4
売上総利益	20,247 (32.0)	10,072 (31.8)	10,174 (32.1)	△34		99.7
営業収入	3,157 (5.0)	1,592 (5.0)	1,564 (4.9)	+149		110.6
営業総利益	23,404 (37.0)	11,664 (36.9)	11,739 (37.0)	+114		101.0
販管費	17,876 (28.2)	8,861 (28.0)	9,015 (28.4)	+510		106.0
営業利益	5,527 (8.7)	2,803 (8.9)	2,724 (8.6)	△396		87.3
経常利益	6,089 (9.6)	3,093 (9.8)	2,995 (9.4)	△395		88.3
税引前純利益	6,042 (9.5)	3,089 (9.8)	2,953 (9.3)	△423		87.5
純利益	4,180 (6.6)	2,136 (6.8)	2,043 (6.4)	△291		87.5

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

# 商品グループ別売上高および構成比の推移

	21/6期 上半期	22/6期 上半期	23/6期 上半期	24/6期 上半期
住まい	37,845 (57.2)	35,479 (57.1)	35,496 (57.0)	35,647 (56.3)
資材・プロ用品	11,355 (17.2)	11,004 (17.7)	11,106 (17.8)	11,351 (17.9)
インテリア・リビング	9,651 (14.6)	9,049 (14.6)	8,977 (14.4)	8,938 (14.1)
ガーデン・ファーム	8,837 (13.4)	7,915 (12.7)	7,905 (12.7)	7,988 (12.6)
リフォーム	8,001 (12.1)	7,509 (12.1)	7,506 (12.1)	7,369 (11.6)
生活	28,263 (42.8)	26,683 (42.9)	26,740 (43.0)	27,684 (43.7)
デイリー・日用品	20,150 (30.5)	18,659 (30.0)	18,575 (29.8)	18,837 (29.7)
ペット・レジャー	7,529 (11.4)	7,451 (12.0)	7,612 (12.2)	8,312 (13.1)
ガソリン・灯油	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
その他	583 (0.9)	572 (0.9)	553 (0.9)	534 (0.8)
合計	66,108	62,162	62,236	63,332

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入



## 株式会社ジョイフル本田（証券コード 3191）

本社	茨城県土浦市富士崎一丁目16番2号
設立	1975年12月15日
資本金	120億円
売上高	1,233億円 *1
従業員数	4,486名（うち正社員1,867名）*1
代表者	平山 育夫（代表取締役社長）
事業内容	ホームセンター事業、住宅リフォーム事業
店舗展開	ホームセンター 17店舗、専門小売店 7店舗
出店エリア (ホームセンター数/専門小売店数)	千葉県（6/3）、茨城県（4/1）、群馬県（3/0）、 埼玉県（1/1）、栃木県（2/1）、東京都（1/1）
関連会社（店舗数）	株式会社MTJフィットネス（3）*2

\*1 2023年6月期末の数値

\*2 関連会社の店舗もすべてジョイフル本田敷地内に帯同出店

## 将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2024年2月2日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【IRに関する問い合わせ先】

広報・IR部 E-mail : 3191ir@joyfulhonda.co.jp  
電話 : 029-822-2215 (代)